

仙台市役所で働く、 ということ

わたしのSENDAIづくり
お話します！



太白区保護課
福祉職 女性職員

1. はじめに～自己紹介

入庁まで

★出身：宮城県仙台市

H30.3：大学卒業

H30.4：仙台市入庁（大卒・福祉）

入庁後の異動歴（現在入庁4年目）

◇ H30.4～現在

太白区保健福祉センター保護課
（社会福祉主事）

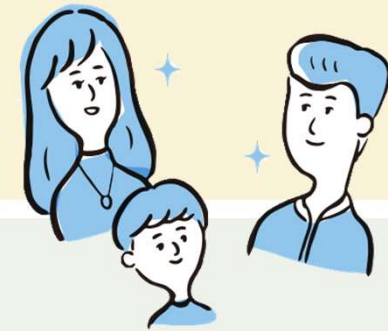


2. 志望動機



◇なぜ公務員？

- ・異動をする中で児童・障害・高齢等、福祉のあらゆる分野の知識を身に付けたい。
- ・行政視点の福祉の動きを知りたい。



◇なぜ仙台市役所？

- ・東北唯一の政令指定都市だからこそ先進的な取り組みや、幅広い業務に携わることができる。

3. 仙台市の仕事～入庁後に担当してきた業務

①太白区保健福祉センター 保護課

**保護課にて、ケースワーカーとして勤務。
仕事内容は…**

1) 生活保護費の計算

→毎月収入の変動がある世帯に対し、適切に生活保護費が支給できるように、事務処理を行っている。

2) 生活状況の確認・指導・援助

家庭訪問、面談などで生活状況を確認。

→自立や、よりよい生活ができるきっかけがないかを探り、必要な指導・援助を行っている。

(就労支援や通院指導、ケア会議への参加など)

4. 職場の雰囲気

- **職員間で相談しやすい**

→職場内のほとんどの職員が同じ業務（ケースワーカー）を行っているので、わからないことがあれば、いつでも、誰にでも質問、相談できる環境が整っている。

- **同世代の職員が多い**

→課内の職員の約半数が20・30代職員であるため活気がある。

- **休暇が取りやすい**

→地区ごとに担当を分けて業務を行うため、スケジュール管理がしやすい。



5. 同期とのつながり

- ・ **精神的な支え**

→ 相談や愚痴を聞いてもらったりすることで、互いに士気を高め合い、精神的な支えとなっている。

近年の1年目…5名前後の配属



6. 入庁前にやっておいてよかったこと

・ 様々な状況の人たちと積極的にかかわる経験 をすること

→学生時代はボランティア活動、児童相談所での実習、施設でのアルバイトなどで、障害をお持ちの方や、高齢の方、子供たちと関わる機会を積極的に作っていました。

仕事柄、様々な事情を抱えた方とお話しすることも多いですが、学生時代に得た経験をもとに対応の仕方を工夫してみるなど、今の仕事に役立っていると感じます。



7. 一日のスケジュール

ある日のスケジュール

8:30 業務開始
(スケジュールをチェック)

9:30 家庭訪問

12:00 お昼休み

13:00 事務作業
(保護費の計算、家庭訪問時の記録作成、電話対応など)

14:00 面談
(就労支援相談)

17:15 業務終了
(やることリストを作っています)



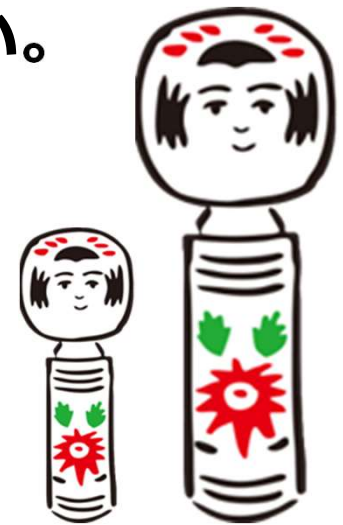
8. 仙台市で働く魅力

- ・ **多様な業務を経験できるところ**

→職場によって、仕事内容は様々。
幅広い知識を得ることができたり、技術を高めたり
することができる。

- ・ **仕事とプライベートの両立**

→市内での異動のため、ライフプランが立てやすい。



9. 仕事のやりがい

・ 人の生活に直接かかわり、支援を行う

「自立って何だろう…？」

「その人にとってのより良い生活とは…？」

→一人ひとり、目標も援助の仕方も変わってきます。
試行錯誤しながら、支援を展開していくことは難しい
ですが、その結果、保護からの自立が見えたときはと
てもやりがいを感じます。



10. 最後に～みなさんへメッセージ

- ・ 福祉職はあらゆる状況や思いを持った方に寄り添って臨機応変に対応することが重要となります。
- ・ 公務員試験の勉強等、大変なことも多いかと思いますが、合格して市職員になった自分をイメージし、期待を持って試験に挑んでいただきたいと思います。

